

□■養成所ニュースプラス第 43 号 2025□■

新しい年が始まり、寒さは一段と厳しくなりました。感染症には、今までどおりの対策を徹底しましょう。年末年始はイベントも多かったと思いますが、既に切り替え勉強時間を確保していることと思います。12月26日公開の「受験対策のポイントを中心とするガイダンス3」動画では今月の勉強の進め方にもふれています。

今月は、人物に関する○×問題を取り上げます。人名問題は、全体では決して多くはないのですが、今回の「社会理論と社会システム」(現、社会学と社会システム)では、人物と理論に関する問題が多く出題されてきました。1点を積み上げていきましょう。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみてください。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【社会理論と社会システム○×問題】

1. ヴェーバー(Weber,M.)は、社会的行為を4つに分類し、特定の目的を実現するための手段になっている行為を「目的合理的行為」と呼んだ。【第34回問題19】
2. デュルケム(Durkheim,E.)は、言語を媒介とした自己と他者の間で相互理解に基づく合意形成を目指す行為を「コミュニケーション的行為」と呼んだ。【第34回問題19】
3. ブルデュー(Bourdieu,P.)は、相互行為が相手の行為や期待に依存し合って成立していることを「ダブル・コンティンジェンシー」と呼んだ。【第34回問題19】
4. 自我とは主我(I)と客我(me)の2つの側面から成立しており、他者との関係が自己自身への関係へと転換されることによって形成されることを指摘した人物は、テンニース(Tonnies,F.)である。【第34回問題20 改変】
5. スペクター(Spector,M.B.)が指摘したアノミーとは、文化的目標とそれを達成するための制度的手段との不統合によって社会規範が弱まっている社会状態を指す。【第33回問題21 改変】

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(35期生)住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(36期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第37回国家試験は、令和7年2月2日(日)です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1431462&c=3246&d=99c7>
- ※試験時間、試験科目(午前・午後の内訳)が公開されました。
- ・第37回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1431463&c=3246&d=99c7>
- ・本養成所主催、「受験対策講座」はwebにて開催中です。

全ての「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」が視聴可能です。また、12月20日(金)に国家試験直前対策講座(有料)の講義動画の視聴が開始となりました。是非ご活用ください。

受験対策ページへアクセスはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1431464&c=3246&d=99c7>

※12月26日(木)に3本目の「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」動画並びに「第36回国家試験受験アン

ケート」の抜粋を公開しました。

※「国家試験直前対策講座（有料）」については、受講確定者に対してご案内（受講確定通知）を郵便及びメールにて送付しています。

※「国家試験直前対策講座（有料）」について、教材の一部に訂正があります。1月9日（木）に専用ページ内にて訂正表を公開しました。ご確認ください。←New

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1431465&c=3246&d=99c7>

- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 37 期生の出願を受け付けております。

現在、2 期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介しますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1431466&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1431467&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1431468&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第 17 号／受験の手引の確認 1】

今回は、「受験の手引」から受験申し込み後の注意事項について確かめていきます。

（１）８ページには、受験申込受付期間終了後に発症した病気、不慮の事故、妊娠等には、「原則、軽微なものに限り対応できる場合」があるとあります。必要な場合は「試験日 15 日前まで」に配慮係に連絡をするようにとのことです。該当する方は、心配なまま当日を迎えないように、事前に相談してください。

（２）10 ページには、受験申し込み後に、「氏名」「現住所」等を変更した場合は、直ちに、87 ページの「受験申込書記載事項変更届」を提出するようにとあります。「2 月 12 日までに」変更届が到着した場合は、結果通知が変更後の住所に発送されるそうです。該当する方は対応してください。

「受験申し込み後の注意事項」は以上になります。次回は「試験当日の注意事項」を中心にお伝えします。

【Plus Quiz 正答と解説】

「社会理論と社会システム」では間違いの選択肢も合わせると、この 5 年間で約 40 人の人物について出題されています。中でも、マートン、パーソンズ、デュルケム、ヴェーバー、テンニース、ゴッフマン、ブルデュー、ルーマン、サザーランドは頻出です。今までの理解をふまえ「デュルケムは社会分業論、アノミー、自殺論」のようにキーワードで覚え込みましょう。ゴッフマンのスティグマやドラマトゥルギー、マートンの予言の自己成就や順機能・逆機能、顕在的機能・潜在的機能、ヴェーバーの支配の 3 類型や官僚制等も今一度確認してください。

1. ○ヴェーバーは、社会的行為を「目的合理的行為」「価値合理的行為」「伝統的行為」「感情的行為」の 4 つに分類しました。
2. ×「コミュニケーション的行為」はハーバーマス（Habermas,J.）が提唱しました。他にも目的論的行為、戦略的行為、規範に規制される行為、演劇論的行為があります。デュルケムは、社会には要素の総和以上の性質が全体として現れる「創発特性」があるため、個人に外在し個人に強制力をもつ「社会的事実」を丸ごと観察する必要があるとしました。
3. ×「ダブル・コンティンジェンシー」について言及したひとりがパーソンズ（Parsons,T.）で、「囚人のジレンマ」

が典型例に挙げられます。また、社会システムが満たすべき4つの機能要件をAGIL図式で示しました。ブルデューは、相互行為における無意識的、習慣的な行為に利用される個人の文化的な蓄積を「文化資本」と呼びました。

4. ×ミード(Mead,G)は、自己が主我(I)と客我(me)の2つの側面をもつと考え、問題解決に向けた具体的な行動の前に主我と客我が自己の内部で対話をするといいます。テンニースは「ゲマインシャフト(共同社会)」と「ゲゼルシャフト(利益社会)」という対概念を示しました。

5. ×選択肢はマートン(Merton,R.K.)のアノミー論です。スペクター(Spector,M.B.)とキツセ(Kitsuse,J.I.)は、社会問題の構築主義を提唱し、社会問題が存在するという前提として考えるのではなく、人々がある社会状況を「社会問題」と定義し、主張すること(クレイム申立)で初めて「社会問題」が構築されるという考え方です。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus